

2 世 帯・住 居

(1) 世 帯

— 世帯数は、33,728 世帯、一世帯当たりの世帯人員 2.35 —

令和 2 年 10 月 1 日現在の世帯数は、一般世帯数が 33,687 世帯（世帯人員 79,040 人）、一般世帯を構成しない施設等の世帯が 41 世帯（世帯人員 1,568 人）となっています。

平成 27 年に行われた前回調査と比べると、世帯総数は 1,237 世帯（3.8%）、一般世帯数は 1,238 世帯（3.8%）増加しました。

表 3. 世帯の種類別世帯数及び世帯人員の推移

（単位：世帯、人、％）

年 次	総世帯数	一 般 世 帯			施設等の 世帯人員
		世 帯 数	世帯人員	1 世帯当 たり人員	
平成 22 年	31,514	31,486	78,557	2.49	1,287
27 年	32,491	32,449	78,755	2.43	1,335
令和 2 年	33,728	33,687	79,040	2.35	1,568
増 減 数					
22～27	977	963	198	—	48
27～令和 2	1,237	1,238	285	—	233
増 減 率					
22～27	3.1	3.1	0.3	—	3.7
27～令和 2	3.8	3.8	0.4	—	17.5

注)総世帯数は「不詳」を含む。

— 一般世帯の 79.8%が 3 人以下の世帯 —

一般世帯の世帯人員別世帯数をみると、令和 2 年では 1 人世帯が 10,283 世帯と最も多く、30.5%を占めています。次いで 2 人世帯 10,145 世帯 (30.1%)、3 人世帯 6,463 世帯 (19.2%) の順となっており、世帯人員 3 人以下の世帯だけで全体の 79.8%を占めています。

平成 27 年と比べて、1 人世帯 (13.5%増) 及び 2 人世帯 (4.0%増) については増加傾向にある一方、3 人以上の世帯については全体的に減少傾向が見られます。このことから世帯規模は、平成 27 年よりもさらに縮小傾向にあることがわかります。

表 4. 世帯人員別一般世帯数

(単位：世帯、%)

世帯人員	一 般 世 帯 数			構 成 比			増 減 率	
	22 年	27 年	令和 2 年	22 年	27 年	令和 2 年	22～27	27～令和 2
総 数	31,486	32,449	33,687	100.0	100.0	100.0	3.1	3.8
1 人	8,284	9,058	10,283	26.3	27.9	30.5	9.3	13.5
2 人	9,277	9,758	10,145	29.5	30.1	30.1	5.2	4.0
3 人	6,526	6,525	6,463	20.7	20.1	19.2	0.0	△1.0
4 人	5,426	5,360	5,244	17.2	16.5	15.6	△1.2	△2.2
5 人	1,529	1,420	1,278	4.9	4.4	3.8	△7.1	△10.0
6 人	343	249	219	1.1	0.8	0.6	△27.4	△12.0
7 人	75	62	44	0.2	0.2	0.1	△17.3	△29.0
8 人以上	26	17	11	0.1	0.1	0.1	△34.6	△35.3

— 一般世帯の 3 分の 2 が核家族世帯 —

一般世帯について家族構成を類型別にみると令和 2 年では、世帯主と親族関係にある世帯員がいる「親族世帯」は、23,208 世帯で、一般世帯の 68.9%を占めています。また、世帯員 1 人の「単独世帯」は、10,283 世帯 (30.5%)、世帯主と親族関係にない世帯員を含んだ「非親族を含む世帯」は 191 世帯 (0.6%) となっています。「親族世帯」のうち「核家族世帯」は、21,887 世帯で、一般世帯のうち 3 分の 2 にあたる 65.0%を占め、「核家族世帯」以外の「その他の親族世帯」は 1,321 世帯 (3.9%) となっています。

平成 27 年と比べると「親族世帯」のうち「核家族世帯」は 362 世帯 (1.7%) 増、「核家族以外の世帯」は 308 世帯 (18.9%) 減となっています。また、「単独世帯」は 1,225 世帯 (13.5%) 増となっています。「核家族世帯」の内訳についてみると、「夫婦のみの世帯」は、208 世帯 (2.7%) 増と大きく増加しました。

図 7. 一般世帯の家族類型別割合の推移（平成 22 年～令和 2 年）

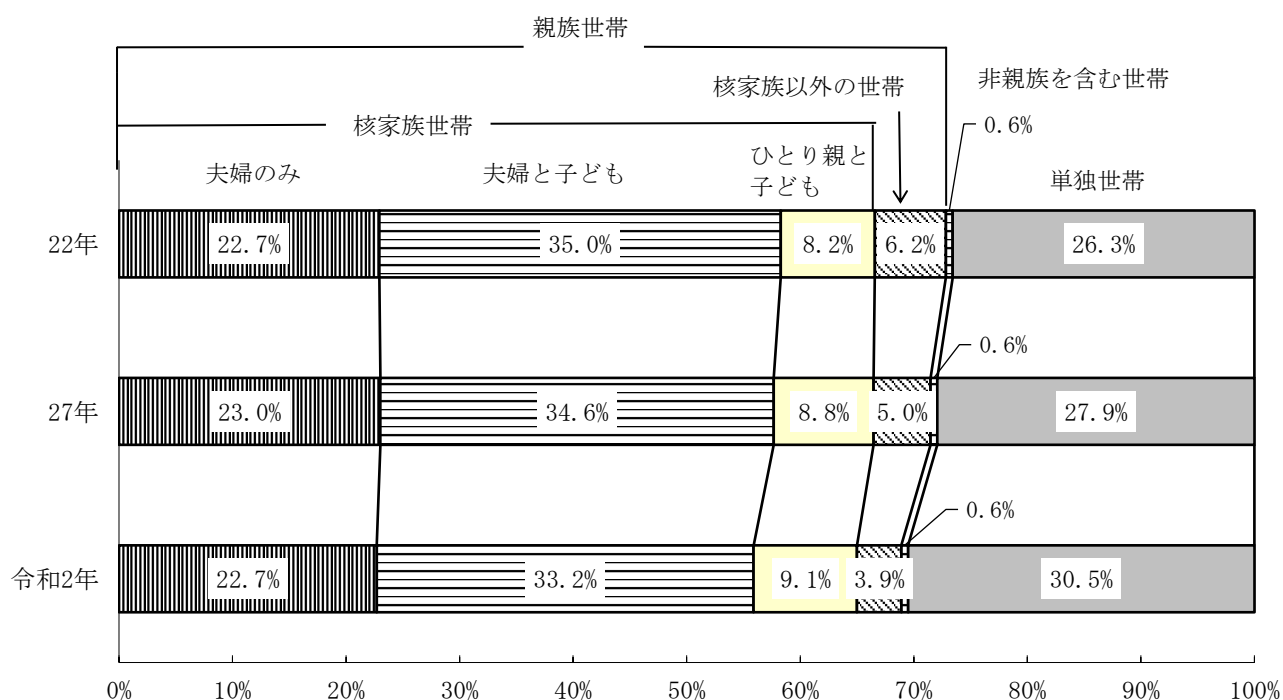


表 5. 世帯の家族類型別一般世帯数（平成 22 年～令和 2 年）（単位：世帯、%）

世帯の家族類型	一 般 世 帯 数			家族類型別割合			増 減 率	
	平成 22 年	平成 27 年	令和 2 年	平成 22 年	平成 27 年	令和 2 年	22～27 年	27～令和 2 年
総 数	31,486	32,449	33,687	100.0	100.0	100.0	3.1	3.8
親 族 世 帯	22,688	23,154	23,208	72.1	71.4	68.9	2.1	0.2
核 家 族 世 帯	20,746	21,525	21,887	65.9	66.3	65.0	3.8	1.7
夫 婦 の み	7,147	7,454	7,662	22.7	23.0	22.7	4.3	2.8
夫 婦 と 子 ど も	11,021	11,221	11,184	35.0	34.6	33.2	1.8	△0.3
男 親 と 子 ど も	351	398	426	1.1	1.2	1.3	13.4	7.0
女 親 と 子 ど も	2,227	2,452	2,615	7.1	7.6	7.8	10.1	6.6
核家族以外の世帯	1,942	1,629	1,321	6.2	5.0	3.9	△16.1	△18.9
夫 婦 と 両 親	48	33	35	0.2	0.1	0.1	△31.3	6.1
夫 婦 と 一 人 親	300	260	200	1.0	0.8	0.6	△13.3	△23.1
夫婦、子どもと両親	217	154	93	0.7	0.5	0.3	△29.0	△39.6
夫婦、子どもとひとり親	619	497	350	2.0	1.5	1.0	△19.7	△29.6
夫婦と他の親族	64	53	57	0.2	0.2	0.2	△17.2	7.5
夫婦、子どもと他の親族	198	185	151	0.6	0.6	0.4	△6.6	△18.4
夫婦、親と他の親族	17	23	16	0.1	0.1	0.0	35.3	△30.4
夫婦、子ども、親と他の親族	71	43	33	0.2	0.1	0.1	△39.4	△23.3
兄 弟 姉 妹 の み	145	145	158	0.5	0.4	0.5	0.0	9.0
他に分類されない親族世帯	263	236	228	0.8	0.7	0.7	△10.3	△3.4
非 親 族 を 含 む 世 帯	178	197	191	0.6	0.6	0.6	10.7	△3.0
単 独 世 帯	8,284	9,058	10,283	26.3	27.9	30.5	9.3	13.5

※平成 22 年の集計から、「非親族世帯」から「非親族を含む世帯」に変更された。

— 高齢単身世帯が大幅に増加 —

65歳以上の高齢者親族のいる一般世帯は13,894世帯で、一般世帯の41.2%を占め、その割合は、平成22年の34.8%、27年の40.2%から次第に高くなってきています。

内訳をみると、高齢者の「夫婦のみの世帯」は4,932世帯で、高齢者のいる世帯総数の35.5%を占め、「高齢単独者世帯」は4,114世帯（29.6%）となっています。また、高齢者が子ども夫婦や孫と同居している「核家族以外の世帯」は1,139世帯（8.2%）で、平成27年から2.5ポイント低下しており、子どもや孫と暮らしていない高齢者の割合が増加していることがうかがえます。

図8. 65歳以上の親族のいる一般世帯の家族類型別割合の推移

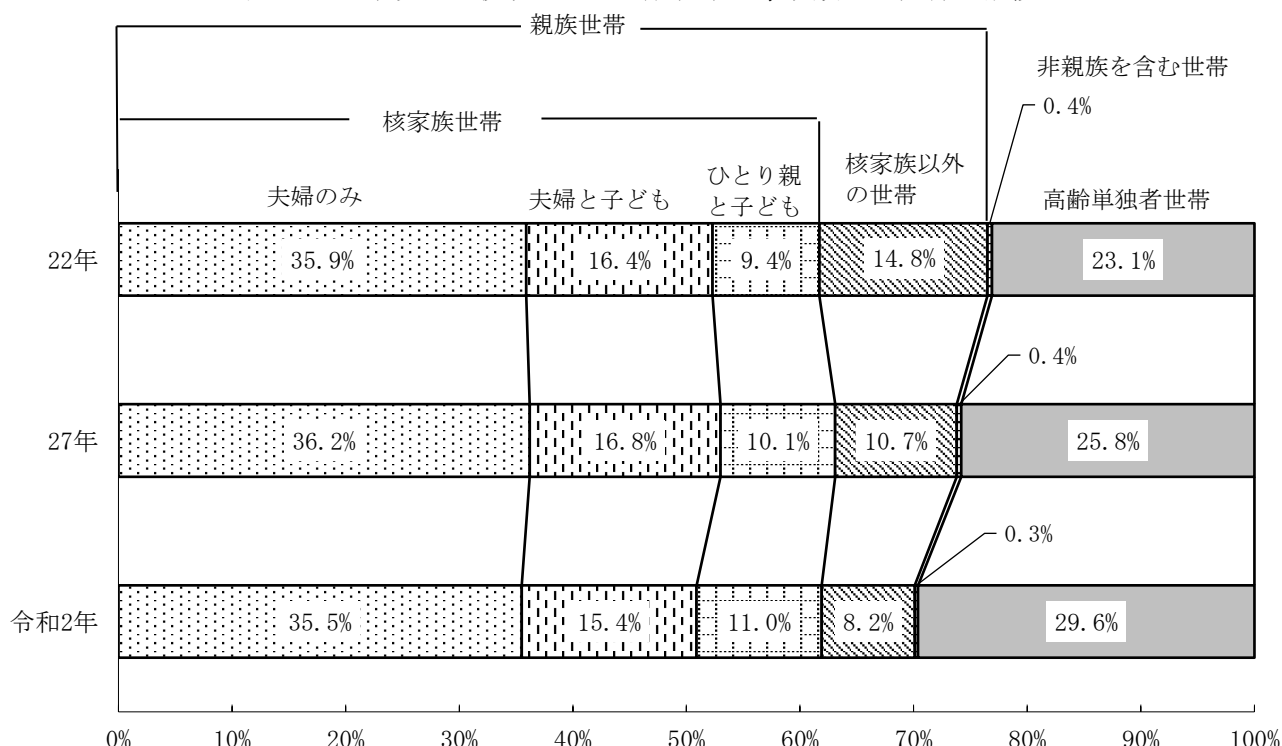


表6. 世帯の家族類型別 65歳以上の親族のいる一般世帯数（平成22年～令和2年）（単位：世帯、%）

世帯の家族類型	一般世帯数			家族類型別割合			増減率	
	平成22年	平成27年	令和2年	平成22年	平成27年	令和2年	22～27年	27～令和2年
総数	10,964 (34.8)	13,057 (40.2)	13,894 (41.2)	100.0	100.0	100.0	19.1	6.4
親族世帯	8,388	9,636	9,736	76.5	73.8	70.1	14.9	1.0
核家族世帯	6,765	8,235	8,597	61.7	63.1	61.9	21.7	4.4
夫婦のみ	3,937	4,733	4,932	35.9	36.2	35.5	20.2	4.2
夫婦と子ども	1,798	2,189	2,141	16.4	16.8	15.4	21.7	△2.2
ひとり親と子ども	1,030	1,313	1,524	9.4	10.1	11.0	27.5	16.1
核家族以外の世帯	1,623	1,401	1,139	14.8	10.7	8.2	△13.7	△18.7
非親族を含む世帯	47	56	44	0.4	0.4	0.3	19.1	△21.4
高齢単独者世帯	2,529	3,365	4,114	23.1	25.8	29.6	33.1	22.3

注) () 内の数値は、一般世帯に占める65歳以上の親族のいる一般世帯の割合。